

(朝刊) THE FUKUNICHI

昭和58年(1983年)7月17日 (日曜日) (日刊)

日本と韓国をトンネルで
結ぼう—という国際ハイウ
—の設立総会

日韓をトンネルで結ぼう でっかいハイウエー構想

唐津—対馬—釜山ルート



エイプロジェクト「日韓ト
ンネル研究会」(本部・東
京)の九州支部設立総会が、
十六日午後一時半から福岡
市博多区博多駅前三丁目、
博多全日空ホテルで開かれ
た。

研究会九州支部が発足

が出席。支部設立を満場一
致で採択した後、支部長に
高田源清・九州大学名誉教
授を選出した。

この雄大な国際トンネル
構想の引き金になったのは、
一昨年十一月に韓国(ソ
ウル)で開催された第十回
科学の統一に関する国際会
議(国際文化財団主催)で、
同財団創設者の文鮮明師が
日本(佐賀県唐津市)と韓
国釜山間の国際ハイウエー
建設を提唱。

これに賛同した日本側が
インターナショナルハイウ
エイ日本建設準備委員会
(梶栗玄太郎委員長)を発
足させ、トンネル研究プロ
ジェクト研究会が始動。地
形、地質、環境に関する資
料集めが進められている。

トンネルは唐津—対馬—
釜山を直結する延長四百三
十キロメートルを中心に現在、
学識者らを交えて案が練ら
れているが、将来には韓国
—中国から欧州までハイウ
エーを延長したいという構

想も織り込まれている。

対馬・朝鮮海峡トンネル
工事費は二兆円とも三兆円
ともいわれ、調査費だけで
も六、七百億円が見込まれ
ており、工事は二十年がか
りになるという。

九州支部は先に発足した
東京本部と連携し、理事会
の下に経済、地形、路線、
環境など四部会を設置、八
月から部活動を本格的にス
タートさせ、トンネル建設
に向けた具体的な試案作成
に着手する。